人工呼吸器・酸素療法

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 人工呼吸器・酸素療法 |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。人工呼吸器　加湿器　酸素濃縮器または酸素ボンベ　移動時人工鼻 |
| 実　施 | 1. 人工呼吸器を速やかに装着する。
2. 移動時は、人工呼吸器に酸素ボンベ流量を

（　）L／分を確認して接続する。1. 保育室（教室）へ入室し、酸素ボンベから

酸素濃縮器へ切り替える。・酸素濃縮器の電源はダイヤルを回すとビーと　アラームが鳴る。・酸素流量を（　）L／分であることを確認する。「設定流量は、（　）Lです。」と知らせる。・お知らせランプが緑色に点灯していることを　確認する。・酸素流量チューブを人工呼吸器に接続する。1. 仰臥位時は、人工呼吸器回路の青い人工鼻

を外し、加湿器をセットし、電源を入れて本人へ装着する。1. 体位変換時は、カテーテルマウントに赤い

キャップを装着し、体位が整ったら赤いキャップを外し、装着する。＜酸素ボンベへ切り替える時（移動時）＞1. 人工呼吸器回路から加湿器とウォータートラップの回路を取り外し、青い人工鼻を装着する。
2. 人工呼吸器から酸素濃縮器のチューブを外し、バギーの後ろにセットする。同時に酸素

ボンベを開栓し、流量を確認のうえ、人工呼吸器に接続する。1. 本人の酸素飽和度（SpO₂）を確認し、言葉を

かけ、バギー等へ移動する。1. 速やかに本人へ人工呼吸器を装着する。
2. 移動保育室（教室）先では、酸素濃縮器または、酸素ボンベへ切り替えて酸素療法を行う。
 | ・酸素流量は、基本（　）ℓ／　分とする。・火気厳禁・移動時は、酸素飽和度（SpO₂）が低下し、変動するため、体位を整え、本人の表情を確認する。・人工呼吸器を装着し、酸素　流量が（　）ℓ／分で供給されたうえで、5分経過しても酸素飽和度（SpO₂）90％以下が5分間以上続くときは、酸素流量を（　）ℓ／分へ上げる。・酸素流量を変更する際は、看護師は他の看護師の応援を要請し、ケアにあたる。・酸素濃縮器に不具合（アラームが鳴る）時は、酸素ボンベに切り替え、酸素療法を行う。管理者へ報告のうえ、保護者に連絡し、保護者に確認後、業者へ連絡する。 |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 酸素療法を実施しても、酸素飽和度（SpO₂）90％以下が5分以上続く場合 | 保護者連絡継続 | 救急車搬送 |
| 酸素濃縮器からのチューブの接続が万が一外れた場合 | 気づいた者が接続する。その後速やかに看護師に報告する。 | 看護師が、接続部、流量などの確認をする。 |
| 酸素濃縮器の不具合（アラームが鳴る） | 保護者へ連絡 | 酸素ボンベに切り替える。保護者に確認後、業者へ連絡する。 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）（父） | 　　　－　　　　－　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科） | 　　　－　　　　－ |
| 救急搬送 | 酸素療法を実施しても、酸素飽和度（SpO₂）90％以下が5分間以上続く場合、救急車搬送する。 |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）